

～町田国際交流センターだより～

にゅうもん にほんご きょうしつ



8月に国際交流センターとしては初めて、日本語が全くわからない方にむけての日本語講座「にゅうもん にほんご きょうしつ」全9回を開催しました。毎週火曜日と金曜日の午前中、とても暑い中にもかかわらず、10名の外国の方がほとんど欠席することなく参加しました。中国、パキスタン、ペルー、ボスニア、ギニアなどの出身の方々です。今回は「簡単な自分のことが話せること」と「ひらがなが読めるようになること」を目標にテキストは使わず、毎回講師オリジナルのスライドと資料を使って学習しました。

初日には「よろしくお願ひします」がなかなか言えなくて、繰り返し練習しながら帰った学習者もいました。とても楽しくアットホームな雰囲気の中で、講師を含めてサポートして下さったボランティアの方々がたくさん話す練習をしました。

最終日には自分の名前や国、家族のこと、住んでいるところ、毎日の生活、好きなこと、自分の出身地にある有名なものやおいしい食べ物の紹介などを、今まで学習したことを踏まえて各自が話す発表会をしました。初日の様子とは全く異なり、全員が自信をもってとてもよく話すことができ、素晴らしい発表会になりました。私は大感激で涙が出そうになりました。最後に全員で記念撮影をし、別れるときにはお互いにハグをして、再会を期待して別れました。

地域日本語コーディネーター 荒明 美奈子



ぼろんていえ

Volontiers! の由来：誘われたとき、頼まれたとき「喜んで！」と笑顔で応えるフランス語

町田国際交流センターではボランティアを中心に、日本にいる外国の方を支援したり、コミュニケーションの活性化をはかるなど、様々な活動を行っています。

国際交流事業やボランティアのお問い合わせは、町田国際交流センターまで



町田天満宮秋季例大祭～子ども山車巡行 2023.9.24 (日) 13:00 - 15:00

待ちに待った町田天満宮秋季例大祭が、4年ぶりに9月23・24日に行われ、私たち国際交流部会は24日(日)秋晴れの下、「六生会(原町田六丁目自治会)」主催の「子ども山車巡行」に参加しました。当日は総勢約60名(交流部会は中国、台湾から子ども含む4家族)が参加。カリヨン広場では法被(はっぴ)を身にまとった大勢の男性が、神輿の出番を待つ姿に強い熱気を感じました。ほかに「神龍会」の獅子舞や太鼓など日本の伝統芸能が披露され、まわりは見物人でいっぱいでした。

午後1時から子どもたちの出番です。大勢の子どもたちが法被姿で商店街を練り歩きます。子どもの山車は神輿ではなく大太鼓です。大太鼓を叩きながら男性の「わっしょい!」の掛け声に、子どもたちも「わっしょい!」と応えます。私たち部会員も「わっしょい」と声援を送りました。なかには、うとうと、よろけながら眠りつつもロープだけは離さないお子さんも見うけられ見物客の方々からは「可愛い～、がんばって～」の声援が聞こえます。

山車巡行が終わった後、六生会神酒所でのお菓子のプレゼントに、子どもたちは皆ご満悦です。子ども山車巡行後も大人の担ぐ各自治会自慢の神輿などで、お祭りは益々盛りあがっていきました。

今回のイベントを通して、子どもたちの参加が自治会の地域活性化につながることを強く感じました。六生会のみなさまには法被貸与、お菓子、飲み物等、幅広いお心遣いを頂き有難うございました。

国際交流部会 渡邊 洋子



『オリエンテーション開催』 2023.8.20 (日) 13:30 - 16:00

夏休みも終わりに近づいた8月20日(日)の午後、国際交流に関心のある皆さんに町田国際交流センターの活動を紹介し、ボランティア参加への入り口ともなるオリエンテーションを開催しました。

当日は気温が35度を超える猛暑日。熱中症警戒アラートも発表され外出も控えるよう呼びかけられた中でしたが、各部会の担当者は和気あいあいと来場者を迎える準備を進めました。「来場者がいなかったらどうしよう・・・」という心配も杞憂に終わり、15名の方が来場してくださいました。

オリエンテーションは富田センター長の挨拶で幕を開け、来場者はパンフレットを見ながら7部会の各ブースのすべてをまわり、じっくりと説明を受けていました。10代、20代の学生さんが多く、「地域の外国人と交流したい」「外国人の力になりたい」との純粋な思いを抱いての来場で、これからの国際交流センターの未来が明るく思えました。

町田市の外国人の数はこの3年で2千人以上も増え8千人を超えました。地域で外国人と接する機会は今後ますます増えていくでしょう。その核となる国際交流センターで、私たちの活動の輪に加わる新たなボランティアが今回の来場者からも生まれることを期待したいものです。

広報部会 岡村 眞理



編集後記

11月。秋の終わりの季節。街路樹のイチョウが黄色く色付き、モミジの赤が目立つ季節。すでに、北国の山々からは、雪の便りも。公園の樹木も藁で包まれ、冬をむかえる準備完了。私たちも、冬の衣装を取り出して、おそまきながらの衣替え。

町田国際交流センターのイベントの予定も、夢広場、ミカン狩り、市役所と市民ホールで開催されるまちカフェなどボランティアの方々は、今月も大忙し。

先日『さんぽ』という定期の刊行物を頂きました。これは、「町田やさしい日本語の会」のメンバーが外国人のために、わかりやすい、やさしい日本語をつかって書いた情報紙だそうで、年4回の発行とのこと。忙しい合間をつかって編集、発行する仕事ぶりには、頭が下がる思いです。

第23回 日本語学習支援ボランティア基礎講座受講生募集

町田地域には、多くの外国籍の方が生活しています。このような人々が生活する上で、必要な日本語を学ぶお手伝いをしてみませんか。この講座では、日本語学習支援に必要なことを学びます。講座終了後、町田市内の日本語支援団体でボランティアとして支援する方を望みます。

期 間：2024年1月9日(火)～2月27日(火) 14:00～16:00 計8回

会 場：町田国際交流センター講習室

定 員：24名(応募者多数の場合は抽選)

受 講 料：会員15,000円・非会員20,000円

申込方法：ホームページ (www.machida-kokusai.jp/) からお申し込みください。

申込期間：11月20日(月)～12月15日(金) 必着

決定通知：12月下旬

回	実施日	講座タイトル
1回	1月9日(火)	地域日本語教室について
2回	1月16日(火)	初めて学ぶ人とのコミュニケーション
3回	1月23日(火)	日本語の基礎Ⅰ
4回	1月30日(火)	日本語の基礎Ⅱ
5回	2月6日(火)	生活日本語の支援Ⅰ
6回	2月13日(火)	生活日本語の支援Ⅱ
7回	2月20日(火)	子どもへの支援
8回	2月27日(火)	教科書を使って会話を広げる工夫 これからの活動に向けて

～子どもから大人までが楽しめる100を越える催しが大集合！～

第17回 町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ！」開催情報

まちカフェ!は、市内で活動するNPO、市民・地域活動団体の日頃の活動を一度に体験できる町田の一大イベントです。参加団体やボランティアで構成される実行委員会が企画・運営しており、今年度は過去最多の119団体が参加します。

開催初日の12月2日(土)には、町田市庁舎を会場に参加団体が一堂に会してワークショップや販売、展示、ステージ発表等を行います。また期間中は市内各所でも展示やイベントが開催されます。誰もが楽しめる様々な企画を準備して皆さんの来場をお待ちしています。

問い合わせ：まちカフェ!実行委員会事務局 (042-785-4871)

イベントの最新情報は公式ホームページでご確認ください▶

